

平成30年度医学部入学定員の増員に係る各大学の取組の概要

○ 地域枠（49大学316人）

大学名	平成29年度定員	平成29年度を期限とする定員の再度の増員前の定員	平成30年度増員計画		平成30年度定員(計画)	平成30年度増員計画
				都道府県等		教育内容の概要
〔国立〕						
旭川医科大学	122	115	2	北海道2	117	本学では、2次医療圏の問題を抽出する「早期体験実習Ⅱ」や「地域医療学」、「臨床疫学」及び「健康弱者のための医学」など地域医療関連科目を開講し、臨床実習においては2週間の地域医療実習を必修化している。平成27年度にはWFMEの基準に基づくカリキュラムの変更を行い、2年次に「医療社会学」を開講し、平成31年度には臨床実習66週のうち33週を地域医療機関も多く参加する診療参加型実習に改め、地域医療に従事する医療職者の育成を目指している。
弘前大学	132	117	15	青森県15	132	1年次に、早期体験実習として大学附属病院や市内の心身障がい者施設、高齢者保健施設、養護学校等の現場での実際を体験したり、地域特有の方言や文化を学んでいる。2年次には、地域の医療現場で働く医師から現状についての講義を受けている。6年次では、診療参加型実習の一部に県内のへき地医療機関での実習を義務づけている。また、2～4年次を対象として地方自治体病院での実習の機会も設けており、地域医療に関心が持てるよう様々なプログラムを提供していく。
東北大学	135	130	5	宮城県5	135	「学外施設実習・被災地体験実習（1年次）」、「地域医療実習（5年次）」及び「長期地域医療実習（6年次）」により地域医療教育に取り組んでおり、特に東日本大震災の被災地域の医療を実体験させることを重視している。また、平成30年度から地域総合地域医療寄附講座と地域医療実習拠点病院を設置することにより、医学生への地域医療実習と若手医師の地域医療オンザジョブトレーニング教育の強化を図ることとしている。
秋田大学	129	114	15	秋田県15	129	1年次からの継続的な地域医療に関する学修の提供、「総合地域医療推進学講座」の開設による総合的臨床能力の育成体制の強化等に取り組んでいる。また、秋田県からの委託により開設している「あきた医師総合支援センター」では、学生等に対するキャリア形成支援を積極的に行っている。さらに、「戦略的外科医師養成プログラム」により、志望者が減少しつつある外科系医師の養成を戦略的・継続的に実施している。
山形大学	125	110	10	山形県10	120	本学では、4年次に「総合医学演習・地域医療学」を開講し、地域包括ケアの現場見学実習を行うとともに、見学先の各病院長等から各機関の現状と課題についての講義を受講することで、山形県における地域医療の必要性等について理解を深めている。また、5年次から行う参加型臨床実習36週間の内、12週間を県内の14連携病院の中から3病院（各4週間）を選択し実施することとしており、地域医療の重要性を実際に現場で感じさせ、研修先の決定にも資する実習体制としている。
筑波大学	140	135	5	茨城県5	140	地域定着プログラムの着実な実施、地域におけるクリニカルクラークシップの受入れ施設の増加、地域医療機関への指導医の配置による地域医療教育の充実等に取り組んでいる。現地での指導やディスカッション等を通じて、地域医療について詳しく理解し、地域医療に貢献する将来のビジョンを明確にする。また、水戸市等県内各地の医療機関に大学の教育拠点を形成することにより、地域医療に従事する医師数の増加、診療内容の充実、医師のキャリア形成支援等を図っている。
群馬大学	123	118	5	群馬県5	123	1年次から早期体験実習を導入しており、2年次までに附属病院や県内の医療施設において、地域医療連携や包括ケアについて臨地実習にて幅広く学ぶ。4年次には保健学科学生と合同で実施するチームワーク実習で、多職種連携について学ぶ。また、臨床実習では、診療参加型実習の拡充を図り、人口対医師数が少ない県央以外の地域にある病院・診療所（へき地診療所を含む）での実習を4週間以上行うなど、地域の特性に応じた医療について学ぶ機会を提供している。
千葉大学	122	117	5	千葉県5	122	学習成果基盤型教育に基づいて学習目標及びカリキュラムを定め、地域医療を担う医師の育成に取り組んでいる。また、育成を効果的に行うために、基盤となる知識を修得するための多様な授業を実施するとともに、地域医療の実情や課題等について理解を深めることを目的に、チーム医療（専門職連携教育、IPE）、医師見習い体験学習、クリニカル・クラークシップ（地域医療実習）などのアクティブ・ラーニングを実施する。
新潟大学	127	112	15	新潟県15	127	1年次から早期医学体験実習を始め、地域医療に関する講義・実習を盛り込み、5年次には、地域医療機関での診療参加型の実習を必修にするなど、将来地域医療の担い手となる医師の養成に取り組んでいる。平成26年度入学生から新カリキュラムを導入し、6年次の実習期間を2倍にするなど更に充実した臨床実習を行っている。また、全学年を対象に学年別にキャリアパス説明会を開催し、新潟県で地域医療に従事する強い意志を持つ医学生のキャリア形成を支援する体制を強化している。

大学名	平成29年度定員	平成29年度を期限とする定員の再度の増員前の定員	平成30年度増員計画		平成30年度定員(計画)	平成30年度増員計画
			都道府県等			教育内容の概要
富山大学	110	105	5	富山県5	110	学部教育における地域医療実習及び卒業後の専門医研修の充実を通して、地域医療に対する使命感を持ち、高度な知識・技術を有する専門医や幅広く病気を診ることのできる総合医の養成を目指す。さらに、県内高校生等の意欲と関心を高めると共に、地域医療従事を前提とする奨学金と地域枠の拡充によって地域の医師定着を図る。
金沢大学	117	112	5	石川県5	117	平成28年度から新カリキュラムを開始し、1年次からの早期医療体験やプロフェッショナルリズム教育の充実等、学生のモチベーションの維持及び医師としての意識の涵養をはかる。また、患者中心の全人的医療のできる医師の育成を目指し、行動科学・社会科学の概念も導入する。臨床実習開始を4年次に前倒しし、診療参加型臨床実習を充実させ、かつ、1タームは必ず「地域クリニカル・クラークシップ」を義務付け、地域医療への理解も教育する。
福井大学	115	110	5	福井県5	115	地域医療を担う医師養成のために、1年次から6年間にわたり地域医療の課題や現状を講義と実習で学ぶ『地域医療人養成カリキュラム』を開講し、体系的に地域医療の理解を促す。さらに地域医療、在宅医療、救急医療等の現場に必要な知識やシステムを体得させる。また、多職種連携やチーム医療を重視し、看護学科と合同で行う授業や地域医療施設における合同実習を充実させるとともに、地域包括ケア実習を行うことにより、地域に貢献する医師の養成を推進する。
山梨大学	125	110	15	山梨県15	125	地域医療の現状と魅力を理解し、地域医療に従事する意識の向上を図るため、1年次に早期臨床体験実習、2年次に防災訓練への参加、3年次に救急車同乗実習、4年次には地域医療問題についてのフィールド研究を行うなど、地域での実習を中心としたカリキュラムを編成し、必修としている。講義・講演の講師も、他病院の医師、医療行政担当者、がん患者等、幅広い方々に依頼し、地域医療への関心を高める内容としている。
信州大学	120	115	5	長野県5	120	地域医療については1年次生の『医学概論演習Ⅰ』や3年次生の『地域医療』で、医療における地域の視点の重要性ならびに地域の医療が抱える問題点とその対策についての認識等を深めている。また、長野県内外の教育協力病院（37施設）を診療参加型臨床実習の場として活用し、臨床実習を見学型から参加型に切り替え各病院の診療チームに学生を参加させることにより、実践的な医師養成が図れるよう取り組んでいる。
岐阜大学	110	95	15	岐阜県15	110	地域枠創設を機に、地域医療に直接触れる学外実習カリキュラムを新設した。カリキュラム外では国内外夏季地域医療研修、へき地地域医療学会学生イベントへの参加支援や地域医療ゼミ（地域医療振興協会と協力）を複数回開講している。また、県地域医療支援センター事業として岐阜県医師育成・確保コンソーシアム事務局を医学部附属地域医療医学センター内に設置し、卒前・卒後一貫した地域医療教育の充実に努めている。
浜松医科大学	120	115	5	静岡県5	120	地域医療に対する意識を高めるため、地域医療が経験できる学外の医療機関、介護施設等での早期臨床体験や臨床実習を行うとともに、さらに地域医療に関する教育を充実させるため家庭医療学Ⅰ（必修）、家庭医療学Ⅱ（選択必修）の実習を行う。また、地域でのプライマリ・ケアを担う総合診療医の育成・定着を促進するため、総合診療教育研究センターにおいて学部教育から専門研修まで一貫した指導体制をとることとしている。
名古屋大学	112	109	3	愛知県3	112	地域枠学生については、全学年参加の「地域医療セミナー」を年5回実施、夏季休暇期間に1～4年生が学年混合班で「地域医療病院見学」を実施、3年生は「基礎医学セミナー」で地域医療教育学講座に6カ月間所属し臨床研究に携わる。4年生は選択講義でワークショップ「地域における多職種連携教育」に参加し、看護・薬学・リハビリテーション科等との協働を学び、6年生は愛知県内の地域医療病院で7週間実習を行う。これらのカリキュラムを通じ、地域親和性の高い医学生の養成に努めている。
三重大学	125	110	15	三重県15	125	本学では、三重県や各市町村、関連施設と連携しながら、地域医療教育の充実のための取り組みを行っている。1年次より、地域医療の理解と医療実践に求められる知識と技能を養成するための教育を実施し、4～6年次では、関連教育病院等において、三重県の地域医療の現状を知り、地域で果たすべき役割を自覚することを目的とした臨床実習を実施している。また、地域枠学生に対しては、個別面談や推薦地域への訪問、関係機関と学生との懇談会などのフォローを実施している。
滋賀医科大学	117	112	5	滋賀県5	117	早期に滋賀県における地域医療の現状について理解させるため、第1学年に「全人的医療体験学習」を配置し、患者宅を訪問して、患者や家族とのコミュニケーションを踏まえ、患者の目線による医療の現状を体験している。また、今年度からカリキュラムを改正し、第1学年秋に「附属病院体験実習」を設け、大学病院の医療の特色や役割について実習を行うことにしている。第5学年からの臨床実習では診療所実習を義務付け、また、NHO東近江総合医療センター及びJCHO滋賀病院と「地域医療教育研究拠点」の協定を結び、地域医療を担う学生の卒前教育を行っている。

大学名	平成29年度定員	平成29年度を期限とする定員の再度の増員前の定員	平成30年度増員計画		平成30年度定員(計画)	平成30年度増員計画
			都道府県等			教育内容の概要
鳥取大学	110	105	5	鳥取県5	110	地域医療教育として、1・2年次から病院等で早期体験実習や地域医療実践者のセミナーを実施している。4年次では各自が県内の4医療施設を訪問し、各施設の特徴を学んでいる。高学年では日野病院（鳥取大学地域医療総合教育研修センター）での地域医療実習が必修および選択で行われる。増員予定の学生は3年次に地域医療学講座に4週間配属され、総合診療と保健・医療・福祉の連携、地域包括ケア等の実践的学習の機会を設けている。
島根大学	112	107	5	島根県5	112	本学では、地域医療への関心・動機付けを高めるために、全学年で地域医療を学ぶことができる地域医療教育システムを構築している。1年次の早期体験実習、地域医療学、3・4年次の地域医療関連講座配属、環境保健医学実習、5年次の院内臨床実習・学外の地域医療機関での臨床実習、6年次の4週間以上の県内の地域医療機関での臨床実習（選択実習）、また全学年を通じた夏季・春季地域医療実習を行っている。この他にも学生自らが企画するフレキシブル地域医療実習、地域で活躍する医師による地域医療セミナー、若手医師によるランチョンセミナー、個別指導等きめ細やかな指導体制の充実を図っていく。
岡山大学	120	115	2	岡山県2	117	本学では、低年次から継続的かつ段階的に地域医療を体験する実習を提供している。それらの教育を通じて、人間性豊かで地域社会に貢献できる医師となるための心構えを学び、また、プライマリ・ケアや地域包括ケア、地域医療において医療機関が果たす役割、多職種連携によるチーム医療などについて理解を深めるとともに、責任ある医療従事者として必要な知識・技能・態度を磨くプログラムを実施している。
広島大学	120	115	5	広島県5	120	医学科全学生について、3年次、4年次、6年次に地域医療に関する講義を実施し、5年次には中山間地の医療機関において、学生が2名一組となり一週間泊まり込みで行う臨床実習を実施している。地域枠(ふるさと枠)学生についてはこれに加え、毎週一回の地域医療に関するセミナー、夏季及び春季休業中の地域医療現地実習、冬季休業中の合宿、進路に関する個別面談等を行い、地域の実情と要請に柔軟に対応できる医療人の養成を目指す。
山口大学	117	112	5	山口県5	117	地域の医療・保健・福祉・介護の実態を把握し、地域社会で求められる医師の役割について学ぶため、1年次に「高齢者施設体験実習」、4～6年次に地域の病院等において「臨床実習」及び「地域医療実習」を行う。また、県医師会と協働で、1～3年次の希望者を対象に「県内研修病院短期見学実習」を実施し、低学年から地域医療の諸問題について学ぶ機会を設ける。これらの教育を通じて、地域医療マインドを持った医師の養成を目指す。
徳島大学	114	109	5	徳島県5	114	1年次は医歯薬学部合同のワークショップを、2・3年次は基礎系・臨床系の教授から研究領域紹介を行い、3年次は1年間の研究室配属により先輩医師から研究の重要性を学ぶ。4年次では少人数に分かれ、問題解決型・自学自習解決型教育により自発的に医学知識を修得し、問題解決能力を身に付ける。臨床実習は、地域医療の現場で現状と課題を学び、総合診断能力、全人的医療及び包括的診療能力の必要性を体験する。また、地域枠学生には徳島県地域医療支援センター教員を中心とした個人面談を実施する。
香川大学	114	109	5	香川県5	114	1年次から、在宅医療や山間部での医療を実践する医師の講義、地域の医療機関、老人保健施設、福祉施設等の見学実習を実施し、地域医療・福祉への理解を深める。4、5年次には、県内の地域医療の基幹となる11の医療機関の協力を得て、1週間の臨床実習を行う「地域医療学」を必修としている。5、6年次では、島しょ部等の病院における3週間の実習を選択必修とし、地域密着循環型の医師の育成、キャリアパスの指導を行う。
愛媛大学	115	110	5	愛媛県5	115	地域医療に従事する医師を確保し、その定着を図るため、「地域医療支援センター」を設置しており、医師の地域遍在の解消に向け取り組んでいる。そこでは、学生が早い段階から地域医療に触れるための地域病院への訪問や、行政・県内病院等との共通認識を深めるための地域医療再生セミナーの開催等を行っている。また、愛媛県内各地に寄附講座を開設し、実習教育、卒後研修、生涯教育等によるキャリア形成支援の拠点化を進めている。
高知大学	115	110	5	高知県5	115	本学では、早期より医療の実際に触れ将来の医療人としての心構えや態度を身に付けるため、1年次に「初期臨床医学体験」として大学附属病院や介護老人保健施設等で実習を行っている。また、中山間地域に赴き地域包括ケアを学ぶ「家庭医道場」や医療現場の実情を学習する「診療施設体験」等の課外実習を行い、学生が県内の一次医療から高次医療まで地域全体の医療について理解を深められるように配慮している。地域枠学生には、年1回県内の地域医療を学ぶ課外実習への参加を義務付けており、地域中核病院の医療を体験する「幡多地域医療道場」や、地方自治体における体験実習の機会を設けている。
佐賀大学	106	104	2	佐賀県2	106	地域枠入学生特別プログラムとして、「佐賀県内基幹病院・中核病院実習」、「地域医療セミナー」、「夏期地域医療実習」を設けて、将来、佐賀県の医療を担う医師の育成のために、医学部教育の早期から県内医療者との交流を図るとともに、佐賀県での地域医療の実際や抱える諸問題等について学ぶことで、地域医療に従事する医師の役割及び責任についての認識を深めることができるようにしている。

大学名	平成29年度定員	平成29年度を期限とする定員の再度の増員前の定員	平成30年度増員計画		平成30年度定員(計画)	平成30年度増員計画
			都道府県等			教育内容の概要
長崎大学	125	120	5	長崎県5	125	長崎県内全域で地域基盤型専門職連携教育のためのフィールドと指導体制を整備し、1年次から地域包括医療・ケアに関する網羅的・体系的なカリキュラムを提供している。4年次からは離島医療・保健実習等の臨床実習を必修とし、5年次からは地域中核病院をはじめとした地域医療施設での実習を必修としている。また、地域枠学生には1年次から地域医療教育を強化した特別カリキュラムを課し、進路指導委員会による定期的な面談等を通して、きめ細かな指導とキャリア形成支援を行っている。
熊本大学	115	110	5	熊本県5	115	熊本県の地域保健や地域医療への理解を深めるために、1年次開講の「早期臨床体験実習Ⅰ」では、地域医療機関や介護老人保健施設などの見学を取り入れた体験実習を行っている。3年次開講の「早期臨床体験実習Ⅲ」では、地域医療機関（診療所等）の体験実習を行っている。また、4年次に開講している「公衆衛生学」「医療と社会」の中で、地域医療に従事する医師としての能力の取得を図るため、地域医療の在り方や熊本県の現状と課題等に関する授業を行っている。さらに、4～5年次の「臨床実習」の中で、地域のプライマリ・ケアを体験させることで、その必要性が理解できるように学生を地域医療機関へ派遣する。
大分大学	110	105	5	大分県5	110	地域で全人的医療や地域包括ケアを実践する良医の育成を目的とし、3年次には県下の医院でのシャドーイング実習（2日間）、5年次には“へき地医療中核病院”での滞在型実習（2週間）を実施している。さらに、地域枠学生には、夏季の地域医療研修、秋季の“へき地医療中核病院”の医師による講演会や交流会、春季の地域医療セミナーを行っている。早期から段階的に地域医療を体験し、使命感や知識・技術の習得を図っている。
宮崎大学	110	105	5	宮崎県5	110	本学科では、全ての学生が低学年から「地域医療学」、「地域社会と医療」において地域医療に特化した講師により地域医療の実態を学び、更に地域特別枠の学生は、宮崎県主催の地域医療ガイダンスへの参加を必修として地域医療に根ざす学生を育てている。加えて高学年では、臨床実習において、市中病院を含めた医療機関等での実習を通して、地域医療も視野に入れた医師の育成を行っている。
鹿児島大学	117	112	5	鹿児島県5	117	地域枠学生への特別離島地域実習の実施、離島へき地の医療関係者との交流、学生と義務年限中の医師との情報交換会等は、離島へき地医療人育成センターが中心となって継続的に実施する。その他の教育は一般入試学生と同じカリキュラムで実施し、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーにそって充実した教育を行う。地域枠卒業生が新専門医制度下で研修・取得可能なプログラムの提示を鹿児島大学病院・県立病院群基幹施設と検討している。
琉球大学	117	115	2	沖縄県2	117	沖縄県地域医療支援センター、医学教育企画室、地域医療部などと連携し、卒後における自己の地域医療貢献のライフスタイル像を身につけるための教育を行う。一般的な地域医療教育（離島地域病院実習など）のほかに、県外地域実習、地域医療を学ぶための学生セミナー、地域枠学生を中心とした学生PBLなど、アクティブラーニング形式の地域枠学生に特化したプログラムを用意している。さらに、沖縄県と連携した、離島実習も行う。
[公立]						
札幌医科大学	110	102	8	北海道8	110	地域医療に関する卒前・卒後の一貫した教育推進体制を整備するとともに、多職種による地域滞在型のチーム医療実習（地域医療合同セミナー）を実施するなど、地域医療教育を充実させ、確固たる地域医療マインドを持った人材の養成に取り組んでいる。また、地域枠の活用により北海道内の優秀な学生を確保し、卒業後の地域医療従事を前提とする奨学金の貸与を通じ地域における医師確保を目指す。
福島県立医科大学	130	115	15	福島県15	130	地域医療に貢献する医師の育成と定着をめざし、地域の医療機関や福祉施設の協力のもと、低学年から地域住民等と向き合う「地域実習」を行っている。また、高学年の臨床実習では、一定期間、地域の医療機関で実習を行う「協力病院コース」や地域住民宅でのホームステイを経験しながら医療研修を受ける「ホームステイ型研修」も選択できる。今後も、地域の医療機関の協力を得ながら、地域に根ざした臨床実習の拡充を図る。
横浜市立大学	90	85	5	神奈川県5	90	1年次の夏休みに1週間行う福祉施設実習（地域の社会福祉法人の施設等）、3年次における地域保健医療学（講義）、及び6年次の1週間（平成30年度以降、2週間とする計画）の地域保健医療学演習（地域の在宅クリニックや診療所、保健所等）において、神奈川県下の地域医療を学ぶプログラムを実施している。
名古屋市立大学	97	95	2	愛知県2	97	1年次の地域参加型学習、5年次の訪問看護同行実習、6年次のへき地・離島診療、都市部の在宅医療への同行実習等の各種実習や、3年次の基礎自主研修における県内の各地域医療機関への調査研究を通して、地域医療に関する理解を深めるとともに、県の地域医療支援センター主催の地域枠学生を対象とする研修会で学習状況を報告している。また、同センターと連携して地域枠出身研修医と面談し、個別に卒後の進路指導を行っている。

大学名	平成29年度定員	平成29年度を期限とする定員の再度の増員前の定員	平成30年度増員計画		平成30年度定員(計画)	平成30年度増員計画
			都道府県等			教育内容の概要
京都府立医科大学	107	104	3	京都府3	107	京都府北部での医学科学生及び看護学生の合同実習により「地域医療」及び「チーム医療」の修得をねらいとした地域滞在実習を実施している。また地域枠による学生との懇談会を開催し、オリエンテーションと地域での活動に対する不安や質問に答えている。また地域枠入学者引き続き京都府や受入病院とも協議して、地域滞在実習を実施していく。
奈良県立医科大学	115	110	5	奈良県5	115	緊急医師確保特別入学試験により選抜した学生を対象に、地域医療の現場を知り、将来、奈良県の地域医療の担い手となるための心構えを身につけることを目的として、緊急医師確保枠学生地域医療特別実習として、1～4年次生を対象に、夏期休業中に本学と早稲田大学で2年に1回実施する4日間の「地域医療学概論」における講義、グループ討議、施設見学等を実施するとともに、5～6年生を対象に教育開発センター、地域医療学講座等が企画する進路指導面談、臨床研修病院見学バスツアー、先輩医師による講演会、臨床研修病院・マッチング説明会を実施している。
和歌山県立医科大学	100	95	5	和歌山県5	100	本学の教育理念に基づき、入学後から計画性と継続性のあるキャリア形成支援によって、医学者としての科学的探究心と、医療者として高い倫理観及び豊かな人間性を兼ね備え、プライマリ・ケアを実践し、高い総合的診療能力を有する医師及び医学研究者を育てます。学部在籍期間においては、大学院準備課程(M. D-Ph. Dコース)や、基礎配属及び臨床実習期間中の海外留学を推奨します。
[私立]						
岩手医科大学	130	115	15	岩手県15	130	本学では、低学年から地域医療に携わる医師養成のための体系的なプログラムを構築している。1年次の「看護・介護体験実習、地域医療見学研修」により、地域医療・介護の実態を把握し理解を深め、医師の心構えを学ぶ。3年次には「救急車同乗体験研修」により、救急医療の現場を体験し、医師の役割を学ぶ。5年次の「地域医療実習」では6週間にわたり医療チームの一員として活動し、地域医療を支える医師としての知識・技術のほか、チーム医療の意義を修得する。
自治医科大学	123	110	13	栃木県3 全国知事会 10	123	本学では、「総合診療能力のある医師」に求められる広範かつ高度な臨床医学の基本的能力を修得するため、全学年にわたり地域医療に関する様々な講義と実習を実施している。実践的な臨床能力を身につけるために、低年次から基礎医学・臨床医学講義を行い、4年次からは、長期間の充実した臨床実習期間を設けている。また、医学・医療だけでなく様々な情報を客観的・批判的に取捨選択し、統合整理する能力を養うためリベラルアーツ教育の強化を図り、地域社会のリーダーとして活躍できる医師の養成を目指す。
埼玉医科大学	128	128	※1	埼玉県1	129	低学年における早期体験実習(障がい者・高齢者医療を担う地域の関係施設での実習)、行動科学・キャリア教育、地域医学・医療学入門、地域基盤型専門職連携教育(地域医療・チーム医療に関する講義・実習)、および高学年における地域の学外施設における診療参加型臨床実習を段階的に行い、それらの教育を通して、地域医療に熱意と理解をもち、プロフェッショナルリズムを備えた優れた臨床医の育成を目指す。
順天堂大学	137	132	8 (※3)	東京都5 埼玉県2 千葉県1	140	地域枠学生に対して、通常の医学部カリキュラムに加えてユニット1～4で構成される本学独自の地域枠学生特別カリキュラムを実施する。1年次から小児科・産婦人科・救急・地域医療等の各領域で実習を行い、特に6年次では、将来の進路となる地域医療等の診療を体験することで、初期および後期臨床研修に繋がる工夫を施している。また、地域枠卒業生との情報交換会を定期的に開催し、地域医療の現状やキャリアプランについて教員と卒業生が一体となり、指導・相談体制を構築している。
日本医科大学	118	118	※3	静岡県3	121	1・2年次は医師としての動機付けを図るため、見学型の医学実地演習で他医療施設等の体験実習を行っている。3年次の医学総論では地域医療や在宅医療を学び、探究心を高める研究配属を本学や他大学とも連携して行っている。4・5年次になると病院での実践的な参加型臨床実習を行い、6年次には選択臨床実習として、海外や地方自治体の医療施設において実践的な実習ができる機会を設けている。地域枠学生が自治体医療施設で活躍できる教育・指導を行っている。
関西医科大学	117	117	※5	静岡県5	122	低学年では、医師としての心構えと態度を学んだ後、医師不足診療科の講義・早期体験実習、地方の医療機関での早期体験実習、僻地医療対策講義及び医師不足問題セミナーを受講する。高学年になると、夏季休業期間を利用した医師不足地域・診療科・僻地医療施設での学外見学実習を経て、学内の医師不足診療科での臨床実習、関連施設での社会医学実習、学外の医師不足地域・診療科施設での臨床実習を行う。これらを通じて、医師不足診療科・地域に従事する医師としての心構え、知識・技術の修得を図る。
兵庫医科大学	112	110	2	兵庫県2	112	地域包括ケアを実施している本学の篠山キャンパスにおける臨床実習(ポリクリ)を4～5年の必修カリキュラムとして実施。また、学外施設でも早期臨床体験実習(2年)、診療所実習(2年)、訪問看護実習(3年)、学外臨床実習(5年)、自由選択実習(6年)等、大学以外での地域の医療の実際と医療職種間の相互理解・連携について理解を深める実習を必修カリキュラムとして開講し、地域医療を担う医師育成に取り組んでいる。
合計			316			

○ 研究医枠、歯学部振替枠 (増員なし)

※ 再度の定員増以外の定員増。()は内数。

(注1)「定員」には編入学定員を含む。

(注2)公立大学については、学則変更の届出が見込まれる定員増の数。